

# 自著と口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔科学読本 その周辺

責任編集：野口 誠, 丹沢秀樹, 川又 均  
岸本裕充, 栗田 浩

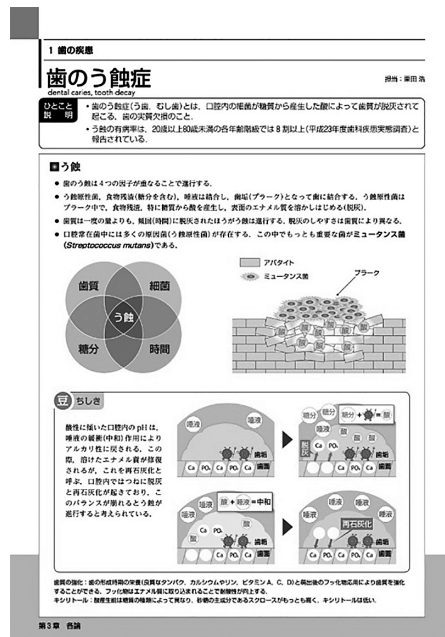
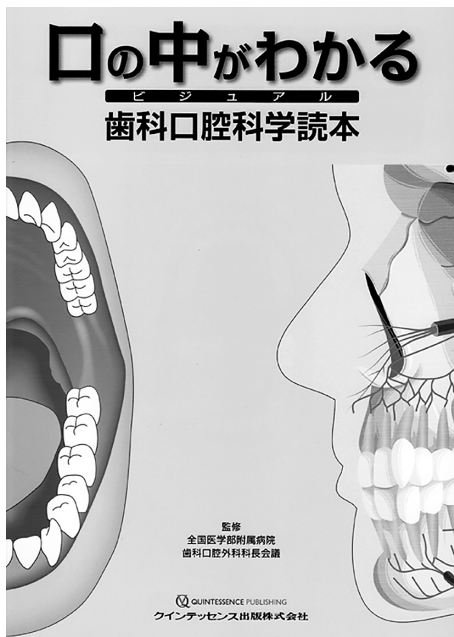
クインテッセンス出版株式会社  
2017年3月10日  
定価 5,500円+税  
監修：全国医学部附属病院  
歯科口腔外科科長会議

医療に携わっている「あなた」。歯のう蝕（むし歯）の治療がどの様に行われているかご存じですか？ 歯周病は治るのでしょうか？ 義歯（入れ歯）はどの様に作られるのでしょうか？ 口内炎もいろいろな種類があるのをご存じですか？ 歯周病は人類で最も多い感染症です。歯のう蝕はほぼ全ての人が経験します。妊婦の歯周病は低体重児の原因になっています。等々。最も身近な歯や口腔内の疾患について、知らないことだらけではありませんか？

歯科・口腔の理解が進まない原因はいろいろ考えられます。医学教育と歯学教育が別々に行われていること、医学教育の中で歯科・口腔の教育に割かれる時間が少ないこと、医科保健/歯科保健が示す様な社会構造などが大きな要因と思われまますが、歯科・口腔をわかりやすく解説した「手頃な教科書」が無いことも大きな要因と思われまます。医学関係者が歯科のことを調べよう、勉強しようとしても、歯科学生向けに作られた難解な教科書を見るしかありませんでした。医療関係者が診療室やベッドサイドですぐ見て理解できる解説書。医学を学ぶ学生が医療を行っていく上で最低限知っておくべき歯科・口腔の知識をわかりやすく解説した教科書。歯科以外の医療関係者向けの歯科口腔科学の教科書が無かったのです。そこで、全国の医学部附属病院にある歯科口腔外科の科長（全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議）が、このような状態を憂い、医療における歯科口腔の理解が進む様にこの本を作りました。歯科・口腔のことを知りたいときに見てすぐ理解できる教科書です。

本のスタイルは最近の流行に合わせて、わかりやすいイラストと症例写真、文章は要点のみ箇条書きにして、短時間で、一目で理解できるようにしています。第1章は総論で、歯科および口腔内の疾患を理解する上で必要な歯および顎口腔の解剖、機能について概説しています。第2章では、歯科や口腔の検査法、歯や顎口腔に現れる症状や症候を概説し、フローチャートも用意し症状・症候から疾患をある程度推定することもできる様にしています。臨床の現場でもすぐ役に立つと思います。第3章は各論で、歯の疾患や顎口腔の疾患の病理・病態、検査・診断、治療法について概説しています。第4章は歯科口腔疾患と全身の関連について説明しています。

本書は、医学に携わる全ての人向けに、歯科・口腔のことが判る様に企画された教科書です。医学関係学生、医師、看護師、放射線技師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、検査技師、介護士など、歯や口腔のことを詳しく学ぶ機会が少ない方にお役立て頂ければと思います。是非、歯科・口腔のことを理解していただき、よりよい医療にお役立てください。



(信州大学医学部歯科口腔外科学教室 栗田 浩)